

【総領事館からのお知らせ：バングラデシュにおける邦人殺害事件の発生に伴う注意喚起】

平成27年10月5日

(総15第20号)

在デンパサール日本国総領事館

1 10月3日午前(現地時間)、バングラデシュ北西部のロングプール県(首都ダッカから約300キロ)において、日本人男性が、オートバイに乗った者らにけん銃で撃たれ、殺害されました。

2 本件に関し、「I S I L(イラク・レバントのイスラム国)バングラデシュ」を名乗る組織が犯行声明を発出し、イスラム諸国における外国人に対するさらなる攻撃の可能性を示唆しています。

3 なお、I S I Lは、本年1月から2月にかけて、シリアにおいて、湯川遥菜氏及び後藤健二氏を殺害したとみられる動画を発出したほか、本年9月には、I S I L機関誌において、インドネシア、マレーシア及びボスニア・ヘルツェゴビナの日本の外交使節(大使館等)を攻撃対象の候補として言及したことがあります。

4 つきましては、上記のような情勢に十分に留意し、誘拐、脅迫、テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の治安情勢等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに、状況に応じて適切な安全対策が講じられるよう心がけてください。

以 上